



第36回世界トランポリン競技選手権大会日本代表選考方法

(開催日) 2022年11月16日～11月19日 (開催都市) ブルガリア・ソフィア

<選考大会>

第一次選考会と最終選考会の2回の選考会にて日本代表を選出する

第一次選考会は第9回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会(5月21日～22日)オープンカテゴリーとする

最終選考会は全日本体操競技種目別選手権大会時同時開催(6月17日～18日)とする

【選考方法】 代表5名選出

1. 第一次選考会 1名内定

予選演技得点(2本の自由演技を行い、どちらか得点の高い方を採用する)と決勝演技得点の合計得点で順位を決定する(決勝進出は8名)

- ① 第一次選考会1位は日本代表内定選手とする。
- ② 下記の派遣標準得点をクリアしていない場合は内定しない。
- ③ 最終選考会進出者は1位～13位の上位者と協会推薦者3名とする。
- ④ 最終選考会推薦対象者は、ナショナル強化選手(SA,S,Aカテゴリー保持者)とする(第一次選考会終了時)。
- ⑤ 推薦対象者がいない場合は、成績通りの選手が最終選考会に進出する。
- ⑥ 最終選考会出場のリザーブ選手は2名までとする。

2. 最終選考会 4名内定

予選演技得点(2本の自由演技を行い、どちらか得点の高い方を採用する)と決勝演技得点の合計得点で順位を決定する(決勝進出は8名)

- ① 最終選考会1位(選考方法1で内定している選手を除く)を日本代表内定選手とする。
- ② 2位以下の選手(選考方法1で内定している選手を除く)の得点と第一次選考会の2位の得点を比較し上位順に選考する(同点の場合は最終選考会得点を優先する)。
- ③ 日本代表内定選手(個人)は最大4名とする。次点の選手はシンクロナイズド代表、個人リザーブとする。
- ④ 派遣標準得点到達していない選手は派遣を見送るものとする(シンクロ代表は除く)。
- ⑤ シンクロナイズドペアは強化本部にて協議し決定する。
- ⑥ 最終選考会次点者を補欠とする。

※ 第一次選考会で内定選手がいなかった場合、最終選考会にて選考する内定選手数を1名追加し、最大5名とする。

派遣標準得点

女子派遣標準得点	予選決勝合計得点	104.000点
男子派遣標準得点	予選決勝合計得点	114.000点

2022年2月23日

公益財団法人日本体操協会